

## 横断的な 取り組み

# 環境学習をより効果的に。

4つの重点分野に対し、横断的な取り組みとして次の3つを掲げました。学習を行う場や機会を提供する「場づくり」、学習を担う人材を育成・活用する「人づくり」、学習を効果的に進める「システムづくり」です。

## より積極的な活動を目指して

体験や実践を重視する環境学習では、さまざまな学習の場が必要です。身近な地域からより広域的な地域まで、地域に応じた拠点づくりや連携強化などにより、総合的・体系的に学べる場や機会の提供に努めます。また、学校における環境学習の充実を図るとともに、事業場での環境学習を推進します。

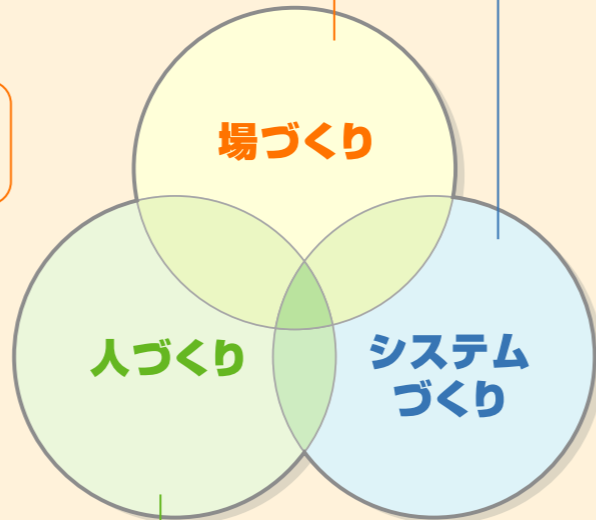
### 【主な取り組み】

- 総合的・体系的に学べる場や機会の提供
- 学校における環境学習の充実
- 事業場における環境学習の推進

身近な地域を  
環境学習の場として活用しよう。



● 高丸山千年の森



## それぞれが効果的に 絡み合うために

環境学習に関する情報について、一元化、ネットワーク化、双方向化を図ることにより、効果的に収集・発信するしくみをつくります。また、取り組みを一層拡大させるための連携・協働のしくみをつくるとともに、教材やプログラムを整備します。

### 【主な取り組み】

- 効果的な情報提供
- 連携・協働のしくみづくり
- 教材・学習プログラムなどの整備と活用
- 普及啓発活動の推進

今ある情報をつないで  
効果的に使えるようにしよう。



● 環境副読本「しらすぎさんと環境しらべ」

## 人が未来の原動力になる

環境学習を効果的に推進するためには、環境に関する専門知識はもとより、環境学習の技能や手法を備えた多様な人材が欠かせません。民間団体や事業場等で、環境問題に関わる人を把握・発掘するなど、多彩な人材が生き生きと活動できるようにします。さらに、地域や学校における人材・指導者の育成を行います。

### 【主な取り組み】

- 人材の把握・発掘および人材情報の提供
- 地域で環境学習を担う人材の育成と活用
- 学校における指導者の育成

資格や能力を持った人たちに力を発揮してもらおう。



● 環境アドバイザーによる学習（伊沢小学校）

## 推進に 向けて

## 徳島県の役割

徳島県は、県民、民間団体、事業者と連携・協働しながら「とくしま環境 学びプラン」の中核的役割を担います。

### ■ 徳島県の取り組み

- 戦略的に取り組みます。
- 民間団体、事業者、国・市町村等と連携・協働する体制をつくります。
- 県庁内の推進体制を整備します。
- 取り組みは「点検・評価・見直し」を行います。
- 県自らが率先して取り組みます。

## みんなで、いっしょに。

環境学習をうまく進めていくためには、県民や民間団体、事業者がそれぞれの立場で取り組むことが重要です。まずは、できることから始めてください。

### ■ 県民に期待される役割

- 地域の環境に興味を持ち、さまざまな活動に積極的に参画する。
- 環境問題に取り組む人や地域のネットワークを広げる。
- 子どもたちの環境学習の場に家族で参加したり、大人の環境活動に子どもたちが参加できるようにする。

### ■ 民間団体（NPO等）に期待される役割

- 専門性や行動力を活かして、迅速で柔軟性に富む多様な環境学習を行う。
- 団体や学校、事業者、行政などと連携・協働し、情報交換を行う。
- 自分たちの地域環境をよくする活動に積極的に参加する。
- 他の目的を持った活動についても、環境の視点を加えて取り組む。

### ■ 事業者期待される役割

- 事業活動における環境への負荷を低減する。
- 地域社会の一員として地域の環境活動や環境学習等に参画する。
- 企業の社会的責任（CSR）を果たすため、地域の環境活動や環境学習活動の支援に努める。
- ISO 14001など環境マネジメントシステム等の認証取得に努め、成果を把握して評価・公表する。
- 事業場での従業員に対する環境活動を、継続的に実施するよう努める。